

[森林関係職業ガイド]

- 『森林で働く』 大成浩市著 ペリかん社 2005年 ISBN 978-4-8315-1114-0
『自然をケアする仕事がしたい!』 住博著 彩流社 2003年
ISBN 978-4-88202-628-0
『環境を守る仕事』 学習研究社 2004年 ISBN 978-4-05-402535-0
『自然職のススメ』 出山健示文 水谷充写真 二玄社 2009年
ISBN 978-4-544-16101-4

インフォメーション その1

東京の森と木
東京の森と木の情報ポータルサイト
(東京の森と木WEBサイト運営委員会)

<http://www.tamamori.jp/>

東京の森と木についての知識や
森林で活躍する人々、イベント情報など
様々な情報を発信しているサイト。
サイト内の『森と木の情報館』では、
都内の森林関係の機関、大学、自治体を
紹介している。

インフォメーション その2

森の聞き書き甲子園
ホームページ

<http://foxfire-japan.com/>

林業、狩猟、森の案内人など森で働く人たちに、
高校生たちが聞き書きを行う、『森の聞き書き甲子園』
というプロジェクトが毎年行われている。
その情報を掲載しているサイト。

作品集もあり

『森の名人ものがたり』

森の"聞き書き甲子園"実行委員会事務局編
アサヒビール 2005年
ISBN 978-4-87950-569-9



キャリアデザイン 6

森の中の仕事

長い年月を見越して、伝え、築き上げていく仕事

『神去なあなあ日常』

三浦しをん著 徳間書店 2009年
ISBN 978-4-19-862731-7

高校を卒業したとたん、俺は強制的に林業の仕事に就かされた。
行った先は三重県の山奥、神去(カムサリ)村。
ケータイは通じないし店はない。住民のしゃべる言葉は聞き取れない。
肝心の仕事では、斜面を転げ落ちてぬかるんだ土にまみれてしまうし、
足場のない高い木の上でチェーンソーを使わされる。
林業なんてやりたくないよ。脱走を実行だ!



東京都立多摩図書館

<http://www.library.metro.tokyo.jp:>

平成22年2月

林業を知る



『プロが教える森の技・山の作法』

新島敏行著 長野亮之介絵 全国林業改良普及協会 2004年
ISBN 978-4-88138-090-1

山で仕事をするときの身支度、道具の使い方、植林や伐採方法などがイラストとともにわかりやすく書かれている。著者は10代の頃より奥多摩で山仕事に携わり、林業塾を主催している。ノウハウだけではなく、昔からの山仕事の慣習などもとりあげられている。まえがきでは、著者が仕事観を語る。

『スギ林はじゃまものか』 山岡寛人著 旬報社 2007年

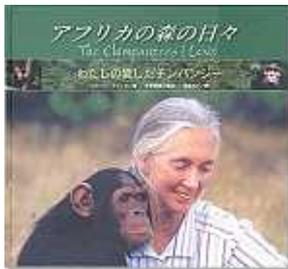
ISBN 978-4-8451-1025-4

今、何かと悪者にされがちなスギ林。花粉症、土砂流出・・・このような問題は、実はスギ林を放置している我々の問題ではないか？
それでは私たちはどうしたらいいのか？
スギ林業が抱えている問題点を考えることから、若い人たちに林業に関心を持ってもらいたい、と10代に向けて書かれた一冊。



森の生き物とともに（その他の森林の中の仕事）

動物学者



『アフリカの森の日々』

ジェーン・グドール著 BL出版 2002年
ISBN 978-4-89238-542-1

子どもの頃から動物が大好きだった著者は、23歳のときアフリカに渡り、タンザニアの森の中で、一人でチンパンジーの研究を始める。しばらくして著者は、大きな発見をする。チンパンジーは草の茎を道具に使ったり、何匹かで獲物を囲み狩をして、獣の肉を食べたりもするのだ。
豊富なカラー写真を掲載。著者のチンパンジーに寄せる愛情が伝わってくる。

写真家

『星野道夫物語』

国松俊英著 ポプラ社 2003年
ISBN 978-4-591-07695-8

アラスカで野生動物や自然を撮り続けた写真家・星野道夫さん。
星野さんは原野や山の中などにテントを張って生活をしながら撮影の旅をした。自然への憧憬を深めていった子供時代、アラスカへのきっかけとなった写真集、写真家になるための情熱と努力、そして撮影旅行中テントの中での悲劇。「自分の一生で何をやりたいのか、その気持ちを育ててゆくことが大切」という星野さんの生き様が綴られる。



マタギ

『マタギに育てられたクマ』

金治直美文 佼成出版社 2008年
ISBN 978-4-593-50426-8

マタギとは、東北地方の山の中で熊などの狩をする人のことだ。白神山地のベテランのマタギ、吉川さんはあるとき、子グマのいる母グマを撃つ。山の神様の意思是、2匹の子グマの命を引き受け育てること。吉川さんはポケットに子グマを入れて山を降りる。マタギの人々の山の自然に対する精神が伝わってくる。

